

令和4年及び5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 「障害者スポーツリハビリセンター機材整備計画」完了式の実施

2024年6月12日、ジェティス州タルディコルガン市の障害者スポーツリハビリセンターにおいて、令和4年及び5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「障害者スポーツリハビリセンター機材整備計画」(供与額:310,709ドル)の完了式を行いました。式典には山田淳在カザフスタン日本大使、同センターのバヤリシュバエフ・エルドス代表、ジェティス州議会のトイリバエヴァ・グリナラ議長、同州雇用社会プログラム調整局のミザンバエフ・エルメク局長、社会連合“エルリク”の代表及び障害者問題に関するジェティス州知事の独立顧問であるアクジャルケノヴァ・ローザ氏、その他州・市政府の職員等が出席しました。

本案件では、障害者スポーツリハビリセンターにおいて、患者数の増加や自宅での療養を余儀なくされている患者がいる現状を鑑み、リハビリ機材8台(物理療法機器2台、歩行訓練装置、脚用運動療法装置、外骨格型リハビリ装置、足首用運動療法装置、モバイルフレックス、キネシオロジー療法装置)を整備しました。同機材を整備したことで、より多くの患者がリハビリを受けられるようになり、長期的・総合的なリハビリを実践する事が可能となりました。また、本案件はカザフスタンの草の根において、最も規模の大きい案件となりました。

式典の際、同センターの代表や州・市政府の職員から日本政府の支援に対して感謝の言葉が伝えられ、山田大使は案件の完了と同センターの設立10周年に対する祝意を述べるとともに、同センターが日本とカザフスタンの友好の架け橋になることを祈念しました。



障害者スポーツリハビリセンター



山田大使の挨拶



障害者スポーツリハビリセンター代表の挨拶



完了式の様子



集合写真



同センターを視察する様子



外骨格型リハビリ装置



山田大使がインタビューを受ける様子